

2015年8月20日

策定委員会ならびに傍聴されている市民の皆様
事務局の皆様

前回の委員会での議論を受け、各分野でたいへんな修正作業をしてくださりありがとうございました。

この度は欠席となつてしまい、たいへん申し訳ございません。

調整計画（案）を市民の皆様公表する前の最後の委員会となりますので、事前に事務局より策定委員会にお送りいただいた資料を拝見したうえでの意見を書面にてお示ししたいと思います。

ざっと作成した拙い文章のため、内容について私への質問等あるでしょうが、何卒文面よりご理解いただければと思います。

策定委員 井原 高地

前半部分

4頁 II 市政を取り巻く情勢の変化

- ◆ 国の打ち出した政策や制度など、情勢の変化は確かに市政を取り巻いていますが、すべて市民を取り巻く情勢の変化だと考えます。
- ◆ この調整計画だけのことではありませんが、こういった計画書が市民生活に直結していることを感じていただくためにも、下記の通り修正をご検討ください。

現状	修正提案
II 市政を取り巻く情勢の変化	II 市民と 市政を取り巻く情勢の変化

2 子ども・教育分野

基本施策1（3）第一段落

- ◆ 先日の策定委員会において、待機児童をゼロとするか解消とするかご議論いただいた際、「市民からの意見でも強く求められていたニーズ調査の精査について記載してはどうか」となりました。

つきましては、下記の通り文言修正をご検討ください。

- ◆ このことについては、行財政分野 基本施策2（1）でも全施策・全事業を念頭に追記されておりますが、特に市民からの切実な意見が多かったことを鑑み、子ども・教育分野でも記載を望むものです。

現状	修正提案
（前略）今後は、計画的に0・1歳児及び3歳児への対策を行い、早期の待機児童解消を目指す。また、地域型保育事業と保育所等との連携体制の確立を進める。	（前略）今後は、計画的に0・1歳児及び3歳児への対策を行い、 <u>子ども・子育て支援新制度によって行ったニーズ調査の結果を本市の実態にそって精査し</u> 早期の待機児童解消を目指す。また、地域型保育事業と保育所等との連携体制の確立を進める。

基本施策1（3）第四段落

- ◆ 公立から子ども協会に移管された5園のことばかりクローズアップされる新武蔵野方式ですが、新方式では残る公立4園の意義が4点示されています。さらに、この意義を実現するために庁内PTが編成されていますが、PTの議論や実際の施策の進捗については公開されていません。

意義が示され、実現に向けたPTがある以上、まずは実際に動くべきと考えます。

- ◆ 新制度に依って株式会社的大幅な参入が見込まれるなか、少子化が解消される予測が立たない以上、株式会社が撤退していくことも見越すべきであり、そのために公立園はセーフティネットの役割があるのではないかと、以前の策定委員会で議論となりました。

前段の意義とは切り離して考えても、公立園は市民全体の財産であり、利用児童と保護者のみならず市民全体に資するものでなければならぬと考えます。

多くの課題を指摘されたままスタートした新制度ですから、この先をじっくり見極め、性急な議論を避け公立園が果たすべき責任と役割を明確にするべきと考えます。したがって、下記の通り修正をご検討ください。

現状	修正提案
新武蔵野方式による市立保育園5園移管後の評価・検証を実施するとともに、新制度下における市立保育園の役割について検討を行う。	新武蔵野方式による市立保育園5園移管後の評価・検証を実施するとともに、 <u>この方式で示された公立園の4つ意義を実現するための庁内プロジェクトを引き続き推進する。また、新制度下における市立保育園の責任と役割について検討を行う 研究する。</u>

基本施策4（3）

- ◆ 先日の策定委員会での議論を受け、市民の意見に沿う形に近づいたと思います。そのうえで「子育て支援機能の拡充を図り」という部分に意見申し上げます。
- ◆ 「拡充」という文言は、前回の計画（案）同様に一定の方向づけがなされている印象を与えます。折角「市民の意見を聞きながら」となりましたので、様々な意見がでるよう「拡充」ではなく「充実」としてはどうでしょうか。
- ◆ 「民間の活力を生かした運営」とありますが、現状で運営の委託が視野にない以上、誤解を招かないように文言修正することを望みます。
以上を踏まえ、下記の通り修正をご検討ください。

現状	修正提案
<p>桜堤地区における乳幼児・児童の増加に伴い、子育て家庭への支援事業の必要性、保育所待機児童の増加、小学生の放課後の居場所など多様なニーズに的確に対応するため、桜堤児童館は、地域が求める課題解決に向け、市民の意見を聞きながら子育て支援機能の拡充を図り、地域の子育て支援団体をはじめとする民間の活力を生かした運営を行っていく。</p>	<p>桜堤地区における乳幼児・児童の増加に伴い、子育て家庭への支援事業の必要性、保育所待機児童の増加、小学生の放課後の居場所など多様なニーズに的確に対応するため、桜堤児童館は、地域が求める課題解決に向け、市民の意見を聞きながら子育て支援機能の拡充 充実を図り、利用者団体や地域の子育て支援団体をはじめとする民間の活力 市民の力を生かした運営を行っていく。</p>

3 文化・市民生活分野

基本施策2 リード文章ならびに (3)

- ◆ 長期計画や調整計画など、市の計画書には「本市らしさ」「本市の魅力」など強調されますが、「武蔵野市らしさ」とは何か? という根本的な認識の一致は薄いのが実情ではないでしょうか。
 - ◆ ですが、第五期長期計画本文にもある「本土空襲の最初の目標地となった歴史を持つ」ことは、武蔵野市の凄惨な実体験であり、このことを次代に必ず繋いでいくことは武蔵野市民の責務であり、これまで繋がれてきた武蔵野市民の願い、すなわち「武蔵野市らしさ」の一つではないでしょうか。
- 恥ずかしながら、8/1付の市報「戦争も核もない世界を武蔵野から」を読み、そのことを改めて思い返しました。
- したがって、下記の通り文言修正をご検討ください。

現状	修正提案
<p>リード文章（第一段落略）</p> <p>本市は、第二次世界大戦中に本土空襲の最初の目標地となった歴史を持つことから、戦争の悲惨さ、平和の尊さを訴えることを大切にしてきた。今後も戦争体験を伝承し、平和の意義を発信し続ける。</p>	<p>リード文章（第一段落略）</p> <p>本市は、第二次世界大戦中に本土空襲の最初の目標地となった歴史を持つことから、平和に対する強い願いを持ち続け、戦争の悲惨さ、平和の尊さを訴えることを大切にしてきた。今後も戦争体験を伝承し、平和の意義を発信し続ける。</p>
<p>(3)平和施策の推進</p> <p>戦後70年を超える歳月が流れ、戦争体験者の証言記録や戦争資料を残すことが困難になっていることから、これらの記録や資料の収集作業を引き続き実施し、資料の整備を推進する。本市の歴史の記憶を、次代を担う若い世代に継承していくとともに、今後も、国内外へ平和の意義を発信する。</p>	<p>(3)平和施策の推進（提案1）</p> <p>戦後70年を超える歳月が流れ、戦争体験者の証言記録や戦争資料を残すことが困難になっていることから、これらの記録や資料の収集作業を引き続き実施し、資料の整備を推進する。本市の歴史の記憶を、次代を担う若い世代に継承していくとともに、今後も、戦争のない世界を実現するために武蔵野市から国内外へ平和の意義を発信する。</p>
<p>(3)平和施策の推進</p> <p>戦後70年を超える歳月が流れ、戦争体験者の証言記録や戦争資料を残すことが困難になっていることから、これらの記録や資料の収集作業を引き続き実施し、資料の整備を推進する。本市の歴史の記憶を、次代を担う若い世代に継承していくとともに、今後も、国内外へ平和の意義を発信する。</p>	<p>(3)平和施策の推進（提案2）</p> <p>戦後70年を超える歳月が流れ、戦争体験者の証言記録や戦争資料を残すことが困難になっていることから、これらの記録や資料の収集作業を引き続き実施し、資料の整備を推進する。本市の歴史の記憶を、次代を担う若い世代に継承していくとともに、今後も、武力に依らない平和の意義を武蔵野市から国内外へ平和の意義を発信する。</p>

基本施策4（3）

◆ 先日の策定委員会でも申し上げた通り、吉祥寺図書館の指定管理者導入は時期尚早と考えます。今回示された（案）では「指定管理者制度の導入を図る」から「検討する」に変更いただきましたが、数点の補足をいたします。

- ① 平成22（2010）年度からの10年間を計画期間とする「武蔵野市図書館基本計画」では38頁 第4章実施計画②施設の管理・運営形態において

[17] 中央図書館・吉祥寺図書館の運営形態の検討
武蔵野プレイスにおける指定管理者制度の導入の効果や課題等を見極めながら、中央図書館・吉祥寺図書館の望ましい運営形態の検討を進めます

とあり、計画期間内の前期5年（2010～2014）・後期5年（2015～2019）ともに「検討」となっています。

計10年間の検討期間ですが、仮に検討が早期に終了したのであれば、検討者（その中に市民が入っていたのか？）や検討結果を明らかにするべきですし、検討が足りないのであれば（勿論、市民を入れ）引き続き検討をし、まずは結果を市民に知らせるべきです。

- ② 「図書館に期待されるサービスが多様化しており、効果的・効率的に対応するために、中央図書館を中核とした図書館のあり方を確立する。」とあります。中央図書館を中核とした図書館のあり方の確立は非常に重要なポイントだと考えますし、このことと吉祥寺図書館の指定管理者の導入は同時並行するものでなく、先ずはこの図書館のあり方を確立させるのが筋だと考えます。吉祥寺図書館は地域や施設の特性に応じた特徴ある図書館を目指し、そのうえで吉祥寺図書館に指定管理者を導入するのが最適か、検討するべきと考えます。

現状の文章では、「指定管理者制度を導入することで、地域や施設の特性に応じた特徴ある図書館足り得る」とも読み解けますが、であるのなら行政直営では実現できない理由を明確に示すべきです。

したがって、下記の通り修正をご検討ください。

現状	修正提案
<p>（第一段落略）</p> <p>図書館に期待されるサービスが多様化しており、効果的・効率的に対応するために、中央図書館を中核とした図書館のあり方を確立する。吉祥寺図書館は、武蔵野プレイスでの実績を踏まえ、指定管理者制度の導入を検討し、地域や施設の特性に応じた特徴ある図書館を目指す。</p>	<p>（第一段落略）</p> <p>図書館に期待されるサービスが多様化しており、効果的・効率的に対応するために、中央図書館を中核とした図書館のあり方を確立する。し、吉祥寺図書館は<u>地域や施設の特性に応じた特徴ある図書館を目指す。そのうえで、武蔵野プレイスでの実績をも踏まえ、指定管理者制度の導入が最適か検討し、地域や施設の特性に応じた特徴ある図書館を目指す。</u></p>

基本施策7（1）

- ◆ 第一段落にある「また、市民が必要に応じて円滑かつ迅速な避難ができるよう、日頃からの市民同士の防災訓練の重要性を発信していく。」という文章ですが、行政が発信することも大切ですし、歓迎しています。

しかし、それ以上に市民から市民に、自主防災組織や避難所運営組織から市民に発信すること、発信できるようになることが重要だと考えます。

- ◆ 設立間もない組織が発信するのは大変でしょうから、先行組織からのノウハウの継承の際の仲立ちなどで行政には支援していただきたいと考えます。

したがって、下記の通り修正をご検討ください。

現状	修正提案
<p>災害発生時において市は、被害状況をはじめ、市を取り巻く状況を正確かつ迅速に把握することが、その後の初動対応をする上で重要である。また、市民が必要に応じて円滑かつ迅速な避難ができるよう、日頃からの市民同士の防災訓練の重要性を発信していく。高齢者、障害者及び外国人等も自ら情報を受発信できるように、停電の発生も想定した多様な情報収集・伝達手段を検討する。</p> <p>避難所及び避難所運営の充実のため、避難所の生活環境の整備、災害時の学校利用計画の策定、市立小中学校全校に避難所運営組織を設立できるように地域への支援を行う。</p>	<p>災害発生時において市は、被害状況をはじめ、市を取り巻く状況を正確かつ迅速に把握することが、その後の初動対応をする上で重要である。また、市民が必要に応じて円滑かつ迅速な避難ができるよう、日頃からの市民同士の防災訓練の重要性を発信していく。高齢者、障害者及び外国人等も自ら情報を受発信できるように、停電の発生も想定した多様な情報収集・伝達手段を検討する。</p> <p>避難所及び避難所運営の充実のため、避難所の生活環境の整備、災害時の学校利用計画の策定、市立小中学校全校に避難所運営組織を設立できるように地域への支援を行う。<u>さらに、発災時には市民が必要に応じて円滑かつ迅速な避難ができるよう、日頃からの市民同士の防災訓練の重要性を市だけでなく運営組織が発信できるよう支援していく。</u></p>

5 都市基盤分野

基本施策3リード文章

- ◆ 第二段落にある「(前略)しかし、市内で発生した自転車に関与する交通事故の割合が都内の平均と比べて高くなっているなど、様々な課題が生じている。」という文章ですが、なぜ都内平均より事故割合が高いのでしょうか。市民の自転車利用そのものが多い、もしくは3駅への乗り入れが多いからでしょうか。それとも、別の理由があるのでしょうか。
- ◆ その辺りの検証が自転車総合計画からは読み取れませんでしたので、検証をしたうえで第二段落後半にある解決策に臨むべきと考えます。したがって、下記の通り修正をご検討ください。
- ◆ 実際には検証済みで自転車総合計画を立てていらっしゃるのであれば失礼いたしました。
ですが、行財政分野にある「効果的」な取組を推進するうえでの裏付けとして検証することを記載した方が良いと考えました。

現状	修正提案
(前略)しかし、市内で発生した自転車に関与する交通事故の割合が都内の平均と比べて高くなっているなど、様々な課題が生じている。走行環境の整備といったハード面とともに、都や近隣自治体などの様々な主体との広域的な連携を含めた交通ルールやマナーの啓発などソフト面での取り組みも行い、より安全で快適な交通環境整備を進めていく。	(前略)しかし、市内で発生した自転車に関与する交通事故の割合が都内の平均と比べて高くなっているなど、様々な課題が生じている。 事故要因の検証をさらに進め 、走行環境の整備といったハード面とともに、都や近隣自治体などの様々な主体との広域的な連携を含めた交通ルールやマナーの啓発などソフト面での取り組みも行い、より安全で快適な交通環境整備を進めていく。

基本施策（４）自転車利用環境の整備と交通ルール・マナーの啓発

- ◆ どれほど国が罰則を強化し、市が環境整備とルール・マナーの啓発をしていただいても「事故は誰にでも起きうること」です。単なる自転車事故で終わるのか、悲惨な自転車事故となるのかは「事故に遭ったときを想定した」市民自身の意識向上も欠かせないと考えました。ヘルメット着用率の向上や保険加入の啓発などについても記載した方が良いと考えました。
- ◆ これらのことを含めたうえでのルール・マナーの啓発の記載とも考えますが、強調する文章を挿入していただければと考えました。第一段落と第二段落の間への挿入をご検討ください。

挿入提案
国が罰則を強化し市が環境整備とルール・マナーの啓発を行っても事故は誰にでも起きうる。事故に遭った時の被害を最小限に抑えることや事故を起こした時のことを想定した市民の意識向上も欠かせないため、ヘルメット着用率の向上や保険加入などの啓発も進める。

以上、ご検討くださいますでしょうか。

最後になりますが、今回市民の皆様にご公表する調整計画（案）は、まだまだ完結ではありません。ご承知の通り、策定委員会の作業としては市長への答申文書が完結ですし、その前に（案）に対して圏域別意見交換会では、いただいたご意見を元に相応の修正が必要となることもあるでしょう。

また、各分野の項目には、外環道のように、これまでの間、市議会でも議論と判断を積み重ねてきた案件もあります。長期計画や調整計画の進行管理を策定委員会が行ってはどうか、というご提案も頂いています。進行管理はどのような形が良いのか、市民が行うにはどのような形式が良いのか、様々なご意見もあるかと思えます。

私としても結論を急ぐことなく、最後の最後まで議論を深めることができればと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。